

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

854

延長保育事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
取組方針	2	子供が健やかに育つことのできる環境づくり

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		児童福祉費	
	目		児童保育費	
	大事業		児童保育事業	
	中事業		延長保育事業	

事業種別	継続	関連個別計画	和歌山市子ども・子育て支援事業計画		
事業年度	平成16年度 ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	保育こども園課	深瀬 琢	435-1064
事業実施の根拠法令	和歌山市延長保育促進事業補助金要綱	関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	延長保育に対する需要に対応するために、延長保育に取り組む保育所及び認定こども園に対し交付金を交付することで、保護者が安心して働ける環境を整える。		保護者の勤務形態や時間帯に応じ、保育が必要な児童に対し保育時間の延長を行う私立保育所及び認定こども園に交付金を交付する。		
事業内容	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
	1日あたりの平均利用者数、実施延長時間等に応じ、私立保育所及び認定こども園に交付金を交付する。	1日あたりの平均利用者数、実施延長時間等に応じ、私立保育所及び認定こども園に交付金を交付する。	1日あたりの平均利用者数、実施延長時間等に応じ、私立保育所及び認定こども園に交付金を交付する。	1日あたりの平均利用者数、実施延長時間等に応じ、私立保育所及び認定こども園に交付金を交付する。	1日あたりの平均利用者数、実施延長時間等に応じ、私立保育所及び認定こども園に交付金を交付する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	81,762	69,488	78,879	67,080	74,910	71,102	68,434	0	68,434	0
伸び率(%)	5.1%	△8.4%	△3.5%	△3.5%	△5%	6%	△8.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	7,007	6,689	5,198	7,059	6,582	5,759	5,759	0	5,759
	正規職員以外	56	140	146	1,725	863	863	863	0	863
	小計	7,063	6,829	5,344	8,784	7,445	6,622	6,622	0	6,622
国庫支出金	27,254	23,864	26,292	24,886	24,970	24,977	22,811	0	22,811	0
県支出金	27,254	24,238	26,292	24,886	24,969	24,977	22,811	0	22,811	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	27,254	21,386	26,295	17,308	24,971	21,148	22,812	0	22,812	0
所要人数(人)	正規職員	0.88	0.84	0.67	0.91	0.88	0.77	0.77	0.00	0.77
	正規職員以外	0.03	0.07	0.07	0.90	0.44	0.44	0.44	0.00	0.44
主な予算内訳	交付金 74,910千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	延長保育事業実施施設数	施設	目標値	45	46	46	46	46
			実績値	46	46	46		
			達成度(%)	102.2%	100%	100%	%	%
	交付園数	施設	目標値	45	45	45	45	45
			実績値	44	45	42		
			達成度(%)	97.7%	100%	93.3%	%	%
成果指標	延長保育事業利用者数	人	目標値	150000	150000	150000	150000	150000
			実績値	129938	123729	116538		
			達成度(%)	86.6%	82.5%	77.7%	%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	保護者の就労形態の多様化等に伴い、保育時間の延長に対する需要に対応できるよう受入れ環境を整えている。
見直し・改善内容	実施施設の事務量軽減のため、毎月の調査表の様式及び補助金交付に係る様式を電子化した。